

東胆振定住自立圏 共生ビジョン

平成 27 年 10 月
(平成 29 年 8 月 第 1 回変更)

北海道 苫小牧市

目 次

1 定住自立圏共生ビジョンの策定にあたって

- (1) 定住自立圏の概要とこれまでの取組・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 定住自立圏及び圏域を形成する市町・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (3) 定住自立圏共生ビジョンの目的・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (4) 定住自立圏共生ビジョンの期間・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

2 圏域の概況

- (1) 東胆振の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2) 東胆振1市4町の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (3) 人口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

3 圏域の将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

4 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

- (1) 共生ビジョンの体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (2) 具体的な取組
 - I 生活機能の強化に係る政策分野・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 1
 - II 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野・・・・・・・・ 1 2
 - III 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野・・・・・・・・ 1 2

資料編

- 1 具体的な事業と内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (1)
- 2 個別事業費一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (1 3)
- 3 定住自立圏共生ビジョン懇談会 委員名簿・・・・・・・・・・・・ (2 2)
- 4 定住自立圏共生ビジョン懇談会 設置要綱・・・・・・・・・・・・ (2 3)

1 定住自立圏共生ビジョンの策定にあたって

(1) 定住自立圏の概要とこれまでの取組

定住自立圏構想は、圏域の中心的な役割を担う中心市と近隣市町村が、それぞれの魅力を活かしながら、相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進する自治体間連携の取り組みです。

苫小牧市は、平成23年11月から、東胆振4町とともに「定住自立圏構想検討会」を設置し、定住自立圏構想の調査・研究を進め、東胆振全体での連携を目指すことを全市町で確認したことから、平成26年7月16日、圏域における中心的な役割を担う意思を表明する「中心市宣言」を行いました。

平成27年2月から3月にかけて、定住自立圏の形成に関する協定書を各市町の議会へ提案し、その議決を経て、平成27年3月24日に苫小牧市と4町との間で1対1の協定を締結し、定住自立圏を形成しました。



平成27年3月24日
定住自立圏形成協定締結式

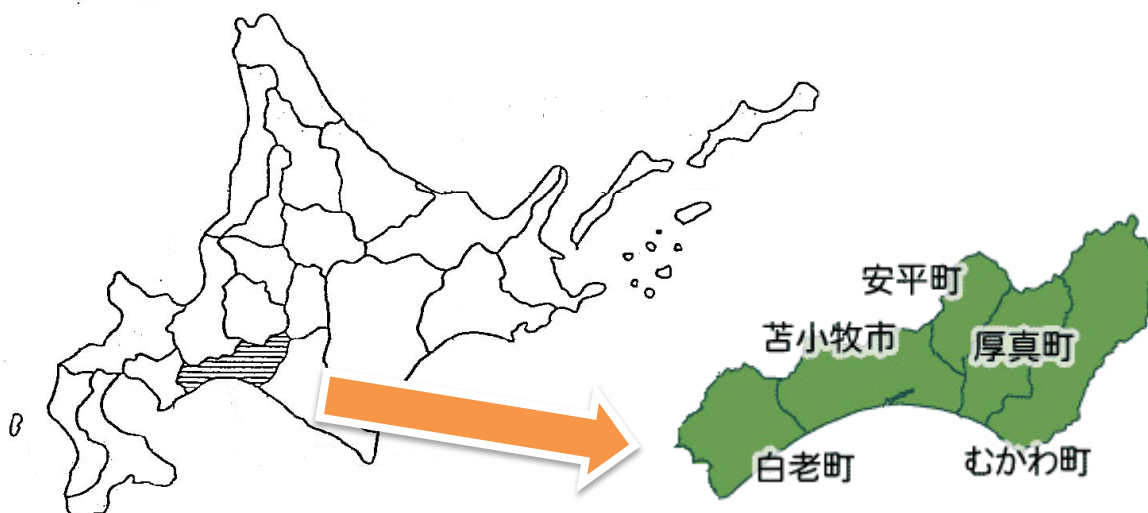
(2) 定住自立圏及び圏域を形成する市町

- ・ 定住自立圏の名称

東胆振定住自立圏

- ・ 圏域を形成する市町

苫小牧市・白老町・厚真町・安平町・むかわ町



(3) 定住自立圏共生ビジョンの目的

本共生ビジョンは、定住自立圏構想推進要綱（平成 20 年 12 月 26 日総行応第 39 号総務事務次官通知）第 6 の規定により、圏域の将来像や、定住自立圏形成協定に基づき関係市町村が連携して推進する具体的な取組内容を明らかにするものです

(4) 定住自立圏共生ビジョンの期間

本共生ビジョンの計画期間は、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間とし、毎年度、所要の見直しを行います。

2 圏域の概況

(1) 東胆振の概況

東胆振は、北海道の中央南部の太平洋岸に位置し、東西約 95km、南北約 60km、面積約 2,340 k m²で、北海道の総面積約 83,424 k m²の約 2.8%を占め、神奈川県とほぼ同じ面積を有しています。

また、道路、鉄道の要衝のみならず、海路は国際拠点港湾苫小牧港を抱え、空路は新千歳国際空港に隣接するなど、道内の運輸・交通の中核的役割を担うとともに、豊かな自然と第一次から第三次に至る幅広い産業基盤を有しております。

地形は、変形扇状といえる地形をなし、北東部は日高山系、北西部は支笏火山系の山岳群にはさまれた石狩低地帯南部に勇払原野が広がり、南部は太平洋に面し、東部は広漠とした平原、北部はおおむね丘陵地を形づくっています。

気候は、全般的に臨海性で、一部には海霧の発生する地域や冷涼な地域を含むが、積雪寒冷の厳しい北海道にあっては、比較的温暖で過ごしやすい地域の一つに数えられています。道内の他地域と比較して、春の訪れは早く、安定した天候の長い秋が続いた後、積雪量の少ない冬が遅く来るなど恵まれた気象条件にあります。

東胆振の総人口は、213,980 人（住民基本台帳：平成 27 年 3 月 31 日）全道人口（5,407,928 人）の 4.0%を占めています。苫小牧市が 173,640 人と圏域人口の 81.1%を占め、その割合は増加傾向にあります。1 k m²あたりの人口密度は 91.4 人となっており、全道の 64.8 人と比べ高くなっています。

(2) 東胆振 1 市 4 町の概況

〔出典〕

人口は住民基本台帳 (H27.3.31 現在)

面積は平成 26 年全国都道府県市区町村別面積調(H26.10.1 現在)



苫小牧市

・人口 173,640 人 ・面積 561.57 k m²



苫小牧市は、国際拠点港湾苫小牧港と新千歳空港を有し、鉄道、国道、高速自動車道などの交通アクセスにも恵まれた、北海道を代表する物流の拠点として、産業・経済の発展に大きな役割を果たしています。

また、紙・パルプ、自動車部品、金属などの工業基地、石油備蓄基地や道内唯一の油ガス田を抱えるエネルギー基地、次代を担うリサイクル産業基地として注目を集めています。一方で、ラムサール条約登録湿地のウトナイ湖や溶岩円頂丘を持つ樽前山など、自然豊かな環境を備えています。

この豊かな自然と調和した、文化の薫り高く潤いのある快適な環境の中で、未来に向かってたくましく歩むまち「人間環境都市」を目指してまちづくりを推進しています。



白老町

・人口 18,193 人 ・面積 425.64 k m²



白老町は、北海道の南西部、胆振管内のほぼ中央に位置し、夏は涼しく冬は暖かい、穏やかな気候に恵まれており、まちの背景には豊かな原生林が、そして目の前には雄大な太平洋が広がる自然豊かなまちです。

まちの産業は、その豊かな自然の中で育てられた「白老牛」をはじめ、前浜産スケトウダラの原因卵を使用した全国ブランドの「虎杖浜たらこ」といった農林水産業を中心に、ポロト湖畔に隣接したアイヌ民族博物館や湯量豊富な温泉等を活かした観光業まで、多彩な形態を成しています。

現在は、2020 年に「民族共生の象徴となる空間」の開設を予定していることから、世界に拓かれたまちを目指し、ひとりでも多くの町民がまちづくりに参画できる仕組みづくりや、異なる民族や多様で豊かな文化などの多様性を理解し尊重でき、誇りに想えるふるさとづくりを推進しています。



厚真町

・人口 4,708 人 ・面積 404.61 k m²



厚真町は、道央圏の胆振管内東部にある町で、夕張市との境界を源流とする約 50 kmの厚真川が南北に貫流し、古くから稲作を中心に農業を基幹産業として発展してきました。近年は、栽培面積日本一を誇るハスカップの全国展開に向け、町をあげてブランド化に取り組んでいます。

町域には国際拠点港湾の苫小牧港東港区が位置し、北海道電力苫東厚真発電所、苫東コールセンター、国家・民間の石油備蓄基地等、物流拠点・エネルギー拠点が立地し、さらにフェリー、高規格幹線道路日高自動車道厚真IC、近接する新千歳空港等、陸・海・空の交通アクセスが充実し、今後も大きな発展が期待で

きる立地環境を有しています。

現在は、子育て支援や教育環境の充実、宅地分譲等により定住促進を進めており、都市と農村との交流を誘うグリーン・ツーリズム等、厚真町が持つ地の利や豊かな自然環境を活かしたまちづくりを推進しています。



安平町

・人口 8,543 人 ・面積 237.16 k m²



安平町は、酪農業や軽種馬産業をはじめとした第一次産業を基幹産業とした町です。アサヒメロンや畜産加工品であるカマンベールチーズなどが有名であるほか、競走馬の産地として、町内の牧場からは多くの重賞勝馬を輩出するなど、町内では牧歌的な風景や多くのサラブレッドの雄姿を目にすることができます。近年では、『菜の花』を活用した商品開発や観光振興が行われ、初夏には約

70ha 以上もの広大な面積に黄色い菜の花が一面に咲き誇る景色は、圧巻です。

また、産業面では、多くの見学が見込まれる日本最大級となる大規模太陽光発電所などの新エネルギー産業を誘致するなど、新千歳空港や苫小牧港との近距離性、高速道路や鉄道など交通の要衝という利便性を活かした企業誘致を進めています。

現在は、これらの町の魅力による地域ブランド価値を活かしながら、交流人口と定住人口の拡大につなげる地域活性化の取組や、子育て環境の充実を推進しています。



むかわ町

・人口 8,896 人 ・面積 711.36 k m²



むかわ町は、道央圏の南方に位置し、札幌市や空の玄関である新千歳空港、海の玄関である苫小牧港にも近く、また、日高・十勝方面への交通の要衝にあります。胆振管内で最も大きい面積を有し、東・北部は日高山脈系の外縁部に囲まれ、西部は勇払原野、南部は太平洋に面し、全国でも屈指の清流度を誇る一級河川「鷓川」が南北に縦走しています。

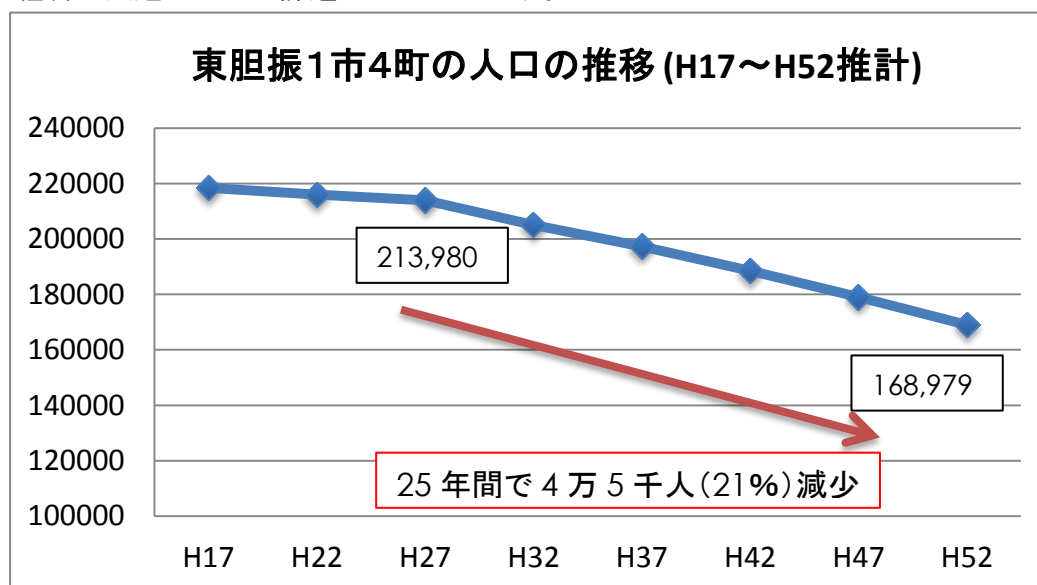
この豊かな自然環境がつくりだす地域ブランド「鷓川ししやも」「ほべつメロン」をはじめとする、品質の高い食材がたくさんあり、自然や食を活かしたイベントも四季折々で開催されます。

一方、まちづくりにおいては、未来の担い手である子育て環境の充実や産業基盤の強化、担い手対策、地域の人材育成といった重点施策を進めているほか、世界的な注目を集めている貴重な恐竜化石を活用したまちづくりにも力を入れています。

(3) 人口

ア 人口の推移

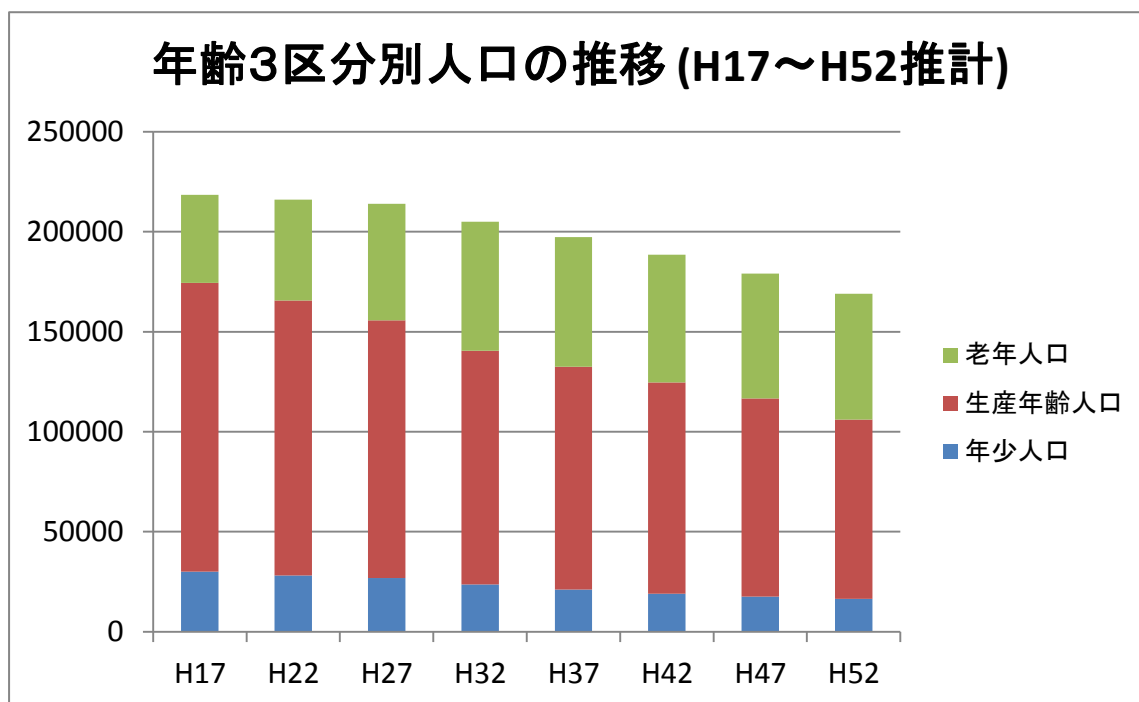
平成 27 年 3 月 31 日時点の東胆振の総人口は 213,980 人で、平成 17 年の 218,479 人と比べ 2.1% (4,499 人) 減少しています。また、国立社会保障・人口問題研究所が発表した「日本の地域別将来人口推計(H25.3)」によれば、25 年間(平成 27 年～平成 52 年)の間に約 4.5 万人の減少が見込まれるなど、人口減少による地域コミュニティの維持や地域経済の衰退が大きな課題となっています。



資料：国勢調査(H17、H22)、住民基本台帳 (H27.3.31)、国立社会保障・人口問題研究所(2013)「日本の地域別将来人口推計」

イ 年齢3区分別人口

東胆振の年齢3区分別人口構成比は、平成17年以降、年少人口（0～14歳）及び生産年齢人口（15～64歳）が一貫して減少しているのに対し、老年人口（65歳～）は増加を続け、平成27年3月31日時点で、年少人口12.5%（26,814人）、生産年齢人口60.3%（128,954人）、老年人口27.2%（58,212人）となっております。平成52年の推計では、年少人口9.8%（16,517人）、生産年齢人口53.0%（89,546人）、老年人口37.2%（62,916人）とより一層、少子高齢化に進むことが予想されています。



資料：国勢調査(H17、H22)、住民基本台帳(H27.3.31)、国立社会保障・人口問題研究所(2013)「日本の地域別将来人口推計」

3 圏域の将来像

我が国は、本格的に人口減少社会へ突入し、少子高齢化の急速な進行による社会的扶養の負担が増大することや、産業や経済のグローバル化など、これまで経験したことのない大きな転換期を迎えています。地方においても、厳しい財政状況、住民ニーズの多様化・高度化・地方分権改革の推進など、地方圏の将来は、より一層厳しさを増すことが予想されます。

こうした中、国においては、まち・ひと・しごと創生本部を立ち上げ、国・地方が一体となって人口減少に歯止めをかける取組を進めております。

当圏域（東胆振1市4町）におきましても、昭和47年の広域市町村圏の指定を受けて以降、多くの広域連携事業に取り組んでおりますが、新たな枠組みとして「東胆振定住自立圏」を形成し、中心市と連携市町がそれぞれの持つ個性を尊重しながら、相互に連携・協力し、圏域全体で生活に必要な機能を確保していく必要があります。

東胆振は、札幌圏や新千歳空港に隣接しているといった地理的優位性を兼ね備えた地域であり、農産品・水産品をはじめとする豊富な地域資源に加えて、2020年開設予定のアイヌ文化の理解と復興の拠点となる「民族共生の象徴となる空間」などの文化資源やサラブレッドを目にするのできる牧場等の観光資源を有しております。

こうした潜在する資源を活かしながら、医療・地域公共交通の充実、さらには、生活情報、雇用情報及び移住・定住関連情報の提供なども含め、必要な生活機能を確保及び共有し、将来にわたって必要な人口を確保した上で、圏域住民が安心して暮らし続けることができる圏域を目指します。



医療・防災体制等の充実による「安心・安全」な生活環境の向上

地域公共交通ネットワークの強化による住民の足の確保と利便性の向上

東胆振ブランド力の強化と交流人口の拡大



3つの柱に重きを置いた施策を継続的に展開しながら、次に掲げる圏域の形成を目指します

東胆振圏域が目指す将来像

魅力あるポテンシャルを活かし、安心して暮らし続けられる圏域

また、施策の推進により人口減少の抑制を目指します。

【圏域人口目標】

平成 22 年 (実績)	平成 27 年 (実績)	平成 52 年 (社人研推計)	平成 52 年 (目標)
216,058 人	213,980 人	168,979 人	187,098 人

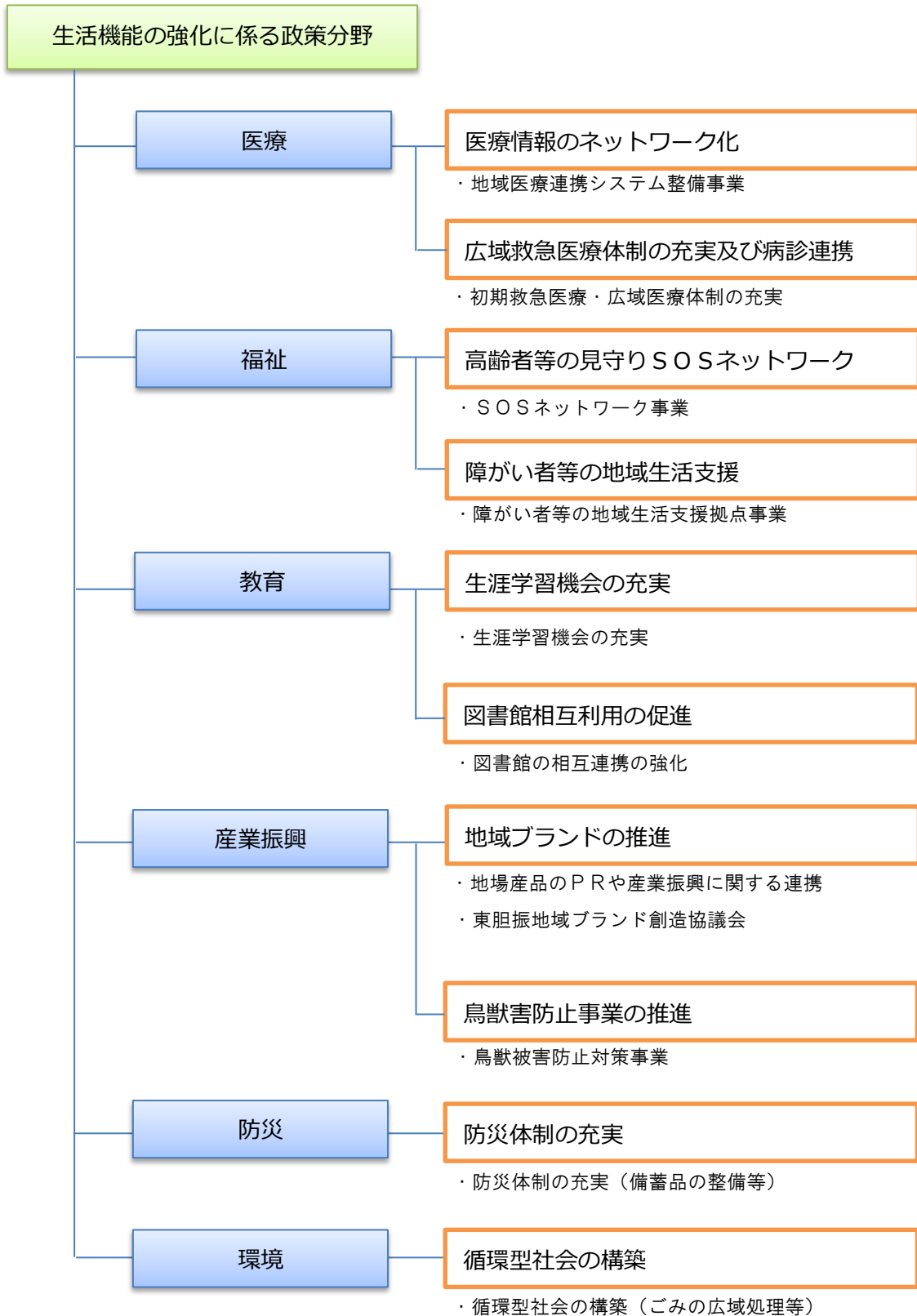
【老年人口目標（高齢化率）】

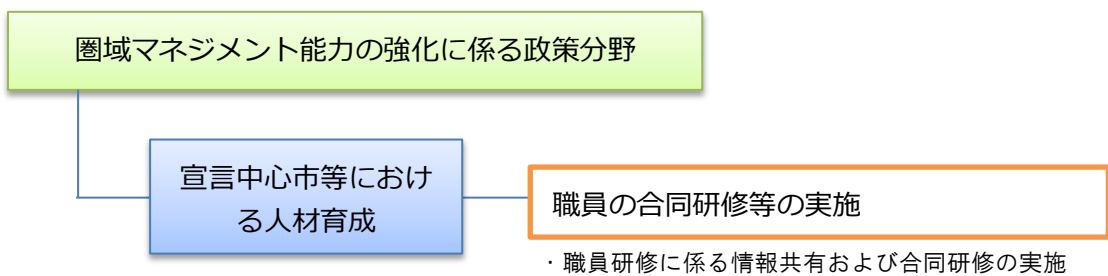
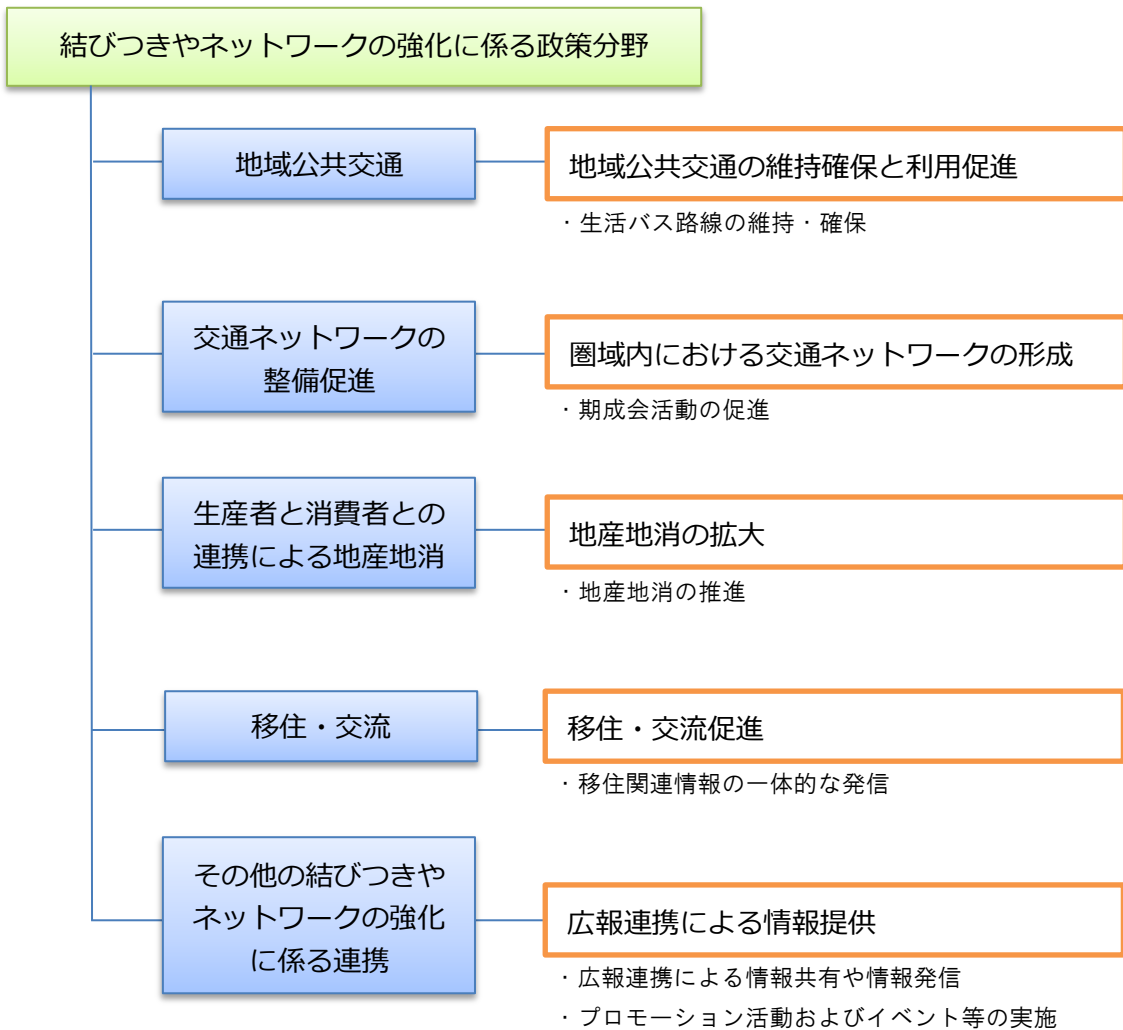
平成 22 年 (実績)	平成 27 年 (実績)	平成 52 年 (社人研推計)	平成 52 年 (目標)
23.4%	27.2%	37.2%	34.7%

資料：国勢調査(H17、H22)、住民基本台帳（H27.3.31）、国立社会保障・人口問題研究所(2013)「日本の地域別将来人口推計」、構成市町人口ビジョン

4 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

(1) 共生ビジョンの体系





(2) 具体的な取組

I 生活機能の強化に係る政策分野

下線は新規・拡充の取組

分類	取組項目	事業名	具体的取組
(1) 医療	医療情報のネットワーク化	地域医療連携システム整備事業	・情報公開病院（王子病院、市立病院）と医師会が協働し、「東胆振メディカルネット」の推進
	広域救急医療体制の充実及び病診連携	初期救急医療・広域医療体制の充実	・東胆振の二次救急医療体制、休日の初期救急医療体制、小児救急医療体制の充実
(2) 福祉	高齢者等の見守りSOSネットワーク	SOSネットワーク事業	・徘徊症状等により所在不明となった高齢者等の搜索と保護
	障がい者等の生活支援	障がい者等の生活支援拠点事業	・障がい者等の地域生活支援の機能強化のための、地域生活支援拠点の整備・運営
(3) 教育	生涯学習機会の充実	生涯学習機会の充実	・各施設の適正な維持管理・運営事業 ・様々な文化活動の展開を推進
	図書館相互利用の促進	図書館（室）の相互連携の強化	・図書館コンピュータシステム事業 ・苫小牧市立図書館の広域利用
(4) 産業振興	地域ブランドの推進	地場製品のPRや産業振興に関する連携	・各特産品のPR・補助事業
		東胆振地域ブランド創造協議会	・東胆振の「食」「観光」「遊（レジャー）」の情報発信事業 ・スープなど開発商品のPR事業 ・産・官・学と連携した事業を展開
	鳥獣害防止事業の推進	鳥獣被害防止対策事業	・鳥獣被害防止対策事業の推進
(5) 防災	防災体制の充実	防災体制の充実	・自主防災組織育成事業、樽前山火山防災会議協議会 ・災害時広域相互応援に関する協定に基づき、圏域における防災備蓄品の充実と相互利用を図る ・避難所等の相互利用について協議を進める
(6) 環境	循環型社会の構築	循環型社会の構築	・ごみの広域処理（苫小牧市、厚真町、安平町） ・住宅用太陽光発電システム設置補助など

II 結びつきやネットワークの強化

下線は新規・拡充の取組

分類	取組項目	事業名	具体的取組
(1) 地域公共交通	地域公共交通の維持確保と利用促進	生活バス路線の維持・確保	<ul style="list-style-type: none"> ・路線維持補助、デマンドバスの運行など ・<u>圏域における医療機関・商業施設・学校などへの交通アクセスの課題について、バスの接続や乗り継ぎの利便性向上を図るため、圏域全体の共通時刻表を策定するほか、交通結節点の整備について協議を進める</u>
(2) 交通ネットワークの整備促進	圏域内における交通ネットワークの形成	期成会活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・苫小牧地方総合開発期成会 ・高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会
(3) 生産者と消費者との連携による地産地消	地産地消の拡大	地産地消の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・東胆振物産まつり補助など
(4) 移住・交流	移住・交流促進	移住関連情報の一体的な発信	<ul style="list-style-type: none"> ・定住移住事業の推進 ・<u>ホームページを活用した圏域内の移住関連情報の一体的な発信</u>
(5) その他の結びつきやネットワークの強化に係る連携	広報連携による情報提供	広報連携による情報共有や情報発信の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>パンフレットやポスターなどを相互配置</u> ・<u>ホームページやフェイスブックを活用したイベント情報を相互発信</u>
		プロモーション活動およびイベント等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道新幹線開業に向けた各種プロモーション活動およびPRイベントの実施

III 圏域マネジメント能力の強化

下線は新規・拡充の取組

分類	取組項目	事業名	具体的取組
(1) 宣言中心市等における人材育成	職員の合同研修等の実施	職員研修に係る情報共有および合同研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>合同研修を実施している新採用職員研修に加え、一般職研修などへの拡大</u>

資料編 1 具体的な事業と内容

I 生活機能の強化に係る政策分野

ア 医療

① 医療情報のネットワーク化

協定の 内容	(取組の内容) 圏域内における診療情報を医療機関間で共有し、圏域の医療体制の充実を図る。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、圏域内における地域医療連携のため中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、圏域内における地域医療連携のための各種事業に取り組む。

事業名	地域医療連携システム整備事業					関係市町
事業概要	医師の診療及び診断を支援する為圏域内の医療機関をインターネット回線で接続し、各医療機関が保有する診療情報の相互参照を可能とする。					全市町
効果	診療情報を共有することにより、地域全体の医療の質の向上が期待される。					
事業費 (千円)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	合計
	1,037	1,037	1,037	1,037	1,037	5,185
補助事業等の名称等	道央圏地域医療再生計画事業費（診療情報共有ネットワーク構築事業）補助金					
役割分担の考え方	苫小牧市がシステム整備に必要な経費を負担する。					

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	登録医療機関数	29 か所 (平成 27 年)	33 か所 (平成 31 年)

② 広域救急医療体制の充実及び病診連携

協定の 内容	(取組の内容) 圏域内における初期救急医療機能や広域医療体制の維持・充実に努める。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、圏域内における初期救急医療機能や広域救急医療体制の充実のため中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、圏域内における初期救急医療機能や広域救急医療体制の充実に向けて取り組む。

事業名	初期救急医療・広域医療体制の充実	関係市町
事業概要	休日又は夜間における第一次救急医療体制の確保及び住民に対する救急医療知識の普及啓蒙、広域救急医療及び小児救急医療を行う。	全市町

効果	圏域内の初期救急医療体制や広域救急医療体制の維持・確保が図られるほか、救急医療の啓発により、地域医療の救急体制についての認識が生まれ、適正な利用が期待できる。					
事業費 (千円)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	合計
	148,248	148,248	148,248	148,248	148,248	741,240
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	夜間・土曜・休日に対応可能な二次救急の輪番制医療機関数	2 医療機関 (平成 27 年)	2 医療機関 (平成 31 年)

イ 福祉

① 高齢者等の見守りSOSネットワーク

協定の 内容	(取組の内容) 圏域内の関係機関のネットワークを活用し、高齢者等の行方不明者の速やかな保護に繋げる。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、見守りSOSネットワーク事業を推進するなど、高齢者が安心して暮らせる地域づくりに取り組む。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、見守りSOSネットワーク事業を推進するなど、高齢者が安心して暮らせる地域づくりに取り組む。

事業名	SOSネットワーク事業					関係市町
事業概要	・徘徊等により所在不明となった高齢者等の搜索と保護 ・本人及び家族等への支援並びに再発防止のための連絡・調整					全市町
効果	高齢者の行方不明時に、警察だけでなく地域の協力団体等が搜索に協力し、速やかな行方不明者の保護に繋がる					
事業費 (千円)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	合計
	901	1,001	1,001	541	541	3,985
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	事業の周知回数	36 回 (平成 27 年)	60 回 (平成 31 年)

② 障がい者等の地域生活支援

協定の内容	(取組の内容) 障がい者等の地域生活支援の機能を強化するため、地域生活支援拠点を整備・運営する。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙から委託を受けて地域生活支援拠点を整備・運営するとともに、乙がその実施状況を把握し、適切な評価を行うことができるよう情報の提供を行う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲に地域生活支援拠点の整備・運営を委託するとともに、その実施状況を把握し、評価を行う。

事業名	障がい者等の地域生活支援拠点事業					関係市町
事業概要	障がい者等の地域生活支援の機能を強化するため、地域生活支援拠点を整備・運営する。					全市町
効果	圏域内における社会的資源を共有することで、障がい者等が必要とする情報や安定したサービスの提供が図られる。					
事業費 (千円)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	合計
	-	8,000	8,000	8,000	8,000	32,000
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	相談件数	- (平成 27 年)	10,000 件 (平成 31 年)

ウ 教育

① 生涯学習機会の充実

協定の内容	(取組の内容) 圏域住民の生涯学習を推進するため、生涯学習機会の充実を図る。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙と連携し、各圏域の生涯学習施設に関する情報共有を行い、住民への周知に努めるなど、生涯学習機会の充実に取り組む。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲と連携し、各圏域の生涯学習施設に関する情報共有を行い、住民への周知に努めるなど、生涯学習機会の充実に取り組む。

事業名	生涯学習機会の充実					関係市町
事業概要	圏域市町が持つ生涯学習施設等の効率的な利用を促進するため、公の施設の適正な維持管理・運営事業を行い、生涯学習機会の充実を図る。					全市町
効果	公の施設の適正な維持管理や運営事業など、施設の相互利用の推進によって、公の施設の有効活用と生涯学習機会の充実が図られる。					
事業費 (千円)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	合計
	80,284	68,669	68,685	68,685	68,685	355,008

補助事業等の名称等	過疎地域等自立活性化推進交付金など
役割分担の考え方	施設の維持管理・運営事業については、各自治体が行う。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	生涯学習関連講座開設数	648 講座 （平成 27 年）	675 講座 （平成 31 年）

② 図書館相互利用の促進

協定の 内容	（取組の内容） 図書館（室）の広域利用を促進するため、図書館（室）相互の連携を強化する。
	（甲の役割・苫小牧市） 乙と連携し、圏域住民の図書館利用を促進するとともに、図書の充実や蔵書情報の提供など中心的な役割を担う。
	（乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町） 甲と連携し、圏域住民の図書館（室）利用を促進するとともに、図書の充実や蔵書情報の提供に努める。

事業名	図書館（室）の相互連携の強化					関係市町
事業概要	図書館（室）の広域利用を促進するとともに、図書館（室）における図書資料の充実や環境を整備し、図書サービスの充実・向上を図る。					全市町
効果	他市町村との図書館広域利用が可能となり、図書館利用に係る住民の利便性が向上するとともに、行政コストの低減が図られる。					
事業費 (千円)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	合計
	9,436	9,436	9,436	9,436	9,436	47,180
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	4 町在住者への延べ貸出人数 （苫小牧市中央図書館）	2,413 人 （平成 27 年）	2,450 人 （平成 31 年）

エ 産業振興

① 地域ブランドの推進

協定の 内容	(取組の内容) 様々な地域資源を活用し、地域全体の活性化を図り、地域ブランドを推進する。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、地域ブランドの創出・発信を行うため中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、地域ブランドの創出・発信を行う。

事業名	地場製品のPRや産業振興に関する連携					関係市町
事業概要	PR活動を通して、地場製品の圏域外への販路拡大を図る。					全市町
効果	地域イメージの向上が付加価値となり、販路拡大のための地域ブランド化が促進される。					
事業費 (千円)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	合計
	60,502	34,326	33,964	33,964	33,964	196,720
補助事業等の名称等	地方創生先行型交付金など					
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					

事業名	東胆振地域ブランド創造協議会					関係市町
事業概要	東胆振地域ブランド推進計画に基づく施策を促進し、観光振興を通じて東胆振全体の活性化に資する。					全市町
効果	地域全体のブランド力を創出・発信することにより、苫小牧市から各町への回遊性の向上、さらには札幌圏などの大都市圏から当該地域へ入り込む交流人口の拡大に繋がる。					
事業費 (千円)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	合計
	-	未定	未定	未定	未定	-
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	地域ブランドの 合同PR回数	4回 (平成27年)	4回 (平成31年)

② 鳥獣害防止事業の推進

協定の内容	(取組の内容) 鳥獣による農業被害の軽減に向け、鳥獣害防止事業を推進する。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、圏域全体の被害の軽減を図る。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、圏域全体の被害の軽減を図る。

事業名	鳥獣被害防止対策事業					関係市町
事業概要	鳥獣による農林業への被害防止を図るため、鳥獣被害防止対策を推進する。					全市町
効果	有害鳥獣による被害状況や被害防止対策等に係る情報共有などの連携によって未然防止が期待される。さらに圏域の基幹産業である農林業に対する被害防止が図られる。					
事業費 (千円)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	合計
	52,540	42,734	42,734	42,734	42,734	223,476
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	目標値(達成年度)
	被害額	19.3万円 (平成27年)	13.2万円 (平成31年)

オ 防災

① 防災体制の充実

協定の内容	(取組の内容) 災害時の応援体制の構築を進めるとともに、自主防災組織の育成など、防災体制の充実を図る。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、災害時における相互応援体制の検討を進めるとともに、自主防災組織の育成など、防災体制の充実に向けて、中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、災害時における相互応援体制の検討を進めるとともに、自主防災組織の育成など、防災体制の充実に取り組む。

事業名	防災体制の充実	関係市町
事業概要	災害に備え、各市町村における防災体制の充実を図る。 災害時広域相互応援に関する協定に基づき災害備蓄品の提供、職員の派遣など相互応援を行う。	全市町

効果	市町単独では対応できない大規模災害に対して、相互応援により、被害を最小限に食い止めることができるなど圏域全体の防災力の向上が図られる。					
事業費 (千円)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	合計
	16,133	18,751	14,690	14,690	14,690	78,954
補助事業等の名称等	地域づくり総合交付金					
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	自主防災組織率 (世帯カバー率)	78% (平成 27 年)	87% (平成 31 年)

カ 環境

① 循環型社会の構築

協定の 内容	(取組の内容) ごみの適正排出やりサイクルを推進し、循環型社会の構築を図るとともに、再生可能エネルギーの導入促進に取り組む。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙と連携し、ごみの適正排出等について、住民への意識啓発を行うとともに、再生可能エネルギーの導入促進を図るほか、一般廃棄物の広域処理を推進する。
	(乙の役割・厚真町・安平町) 甲と連携し、ごみの適正排出等について、住民への意識啓発を行うとともに、再生可能エネルギーの導入促進を図るほか、一般廃棄物の広域処理を推進する。
	(乙の役割・白老町・むかわ町) 甲と連携し、ごみの適正排出等について、住民への意識啓発を行うとともに、再生可能エネルギーの導入促進を図る。

事業名	循環型社会の構築					関係市町
事業概要	一般廃棄物の広域分担処理等の推進により、廃棄物の安定的かつ効率的な処理を維持・確保する。 圏域内における太陽光などの再生可能エネルギーや省エネルギー機器の導入を促進する。					全市町
効果	廃棄物処理施設を広域化することにより、経済性の向上と効率的な維持管理が可能となる。 地域資源を活用した再生可能なエネルギーの導入や、省エネ化を進めることにより、圏域における温室効果ガスの削減が図られる					
事業費 (千円)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	合計
	870,464	288,463	320,162	319,128	321,840	2,120,057
補助事業等の名称等						

役割分担の考え方	(一般廃棄物広域処理部分) 苫小牧市：一般廃棄物の処理にかかる施設の運営経費を負担する 安平・厚真町：行政事務組合が処理費用として負担する (その他) 各市町が必要な経費を負担する。
----------	---

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	家庭ごみの排出量	4.4 万 t (平成 27 年)	4.2 万 t (平成 31 年)

II 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

ア 地域公共交通

① 地域公共交通の維持確保と利用促進

協定の内容	(取組の内容) 圏域内住民の移動手段を確保するため、圏域における公共交通の課題について調査・検証するとともに、各種輸送機関との相互連携により、地域公共交通の確保に取り組む。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙と連携し、圏域内の公共交通手段の維持・利用促進を図るとともに、効率的で利便性の高い公共交通システムの構築に向けて、中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲と連携し、圏域内公共交通手段の維持・確保等に取り組む。

事業名	生活バス路線の維持・確保					関係市町
事業概要	乗合バス事業者等への支援を通じ、圏域住民の生活に必要なバス路線の維持・確保を図るとともに、多様な交通手段の検討を行う。					全市町
効果	バス路線の維持・確保により、中心市である本市の医療機関や、商業施設といった都市機能を広域的に利用することができる。 圏域住民の移動手段の確保が図られる。					
事業費 (千円)	H27(2015) 174,402	H28(2016) 177,725	H29(2017) 177,725	H30(2018) 177,725	H31(2019) 177,725	合計 885,302
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	地域間幹線系統数 (自治体間運行バス)	5 系統 (平成 27 年)	5 系統 (平成 31 年)

イ 交通ネットワークの整備促進

① 圏域内における交通ネットワークの形成

協定の内容	(取組の内容) 圏域内における効率的な交通ネットワーク形成に向け、交通インフラ整備促進のための各種事業に取り組む。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙と連携し、圏域市町を結ぶ国道・道道などの幹線道路網の整備促進に向けて、中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲と連携し、圏域の効率的な交通ネットワークの形成に向けて取り組む。

事業名	期成会活動の促進					関係市町
事業概要	圏域内における基幹道路等、交通インフラ整備促進のための期成会活動を促進する。					全市町
効果	期成会活動の活発化により、圏域内の交通インフラ等の整備促進に繋がる。					
事業費 (千円)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	合計
	920	920	920	920	920	4,600
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	国への合同要望回数	3回 (平成27年)	3回 (平成31年)

ウ 生産者と消費者との連携による地産地消

① 地産地消の拡大

協定の内容	(取組の内容) 圏域内の地場産品等の消費を拡大するため、相互に連携し、地産地消を推進する。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、圏域内の地場産品等の情報発信を行うなど、地産地消の拡大に向けて取り組む。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、圏域内の地場産品等の情報発信を行うなど、地産地消の拡大に向けて取り組む。

事業名	地産地消の推進					関係市町
事業概要	圏域の地産地消に関するイベントや生産者の情報を消費者に提供するとともに、連携してイベントなどを実施する。					全市町
効果	消費者と生産者の交流促進や食の安全・安心、消費拡大につながり、地産地消の推進が図られる。					
事業費 (千円)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	合計
	2,454	2,454	2,454	2,454	2,454	12,270

補助事業等の名称等	
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	個別事業の売上金額	1,309万円 （平成27年）	1,380万円 （平成31年）

エ 移住・交流

① 移住・交流促進

協定の 内容	（取組の内容） 圏域の移住関連情報を発信し、移住・交流を促進する。
	（甲の役割・苫小牧市） 乙と連携し、ホームページ等を活用した圏域の地域資源をはじめとする魅力や移住・交流関連情報を発信する。
	（乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町） 甲と連携し、圏域の地域資源をはじめとする魅力や移住・交流関連情報を発信する。

事業名	移住関連情報の一体的な発信					関係市町
事業概要	地域の様々な魅力をはじめ、暮らしや住まいに関する情報やイベント情報などの移住・交流関連情報を発信する。					全市町
効果	交流人口の拡大と圏域内への定住促進が期待される。					
事業費 (千円)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	合計
	45,907	44,366	44,381	44,381	44,381	223,416
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	合同情報発信数	0回 （平成27年）	3回 （平成31年）

オ その他の結びつきやネットワークの強化に係る連携

① 広報連携による情報提供

協定の内容	(取組の内容) 圏域内の情報を共有し、相互に発信するほか、行政区の枠組みを越えた広域連携による情報発信を行う。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙と連携し、圏域内の情報を共有・発信するほか、ホームページ等を活用したイベント情報の共有を図る。また、広域連携によるプロモーション等の情報発信を推進するにあたり、中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲と連携し、圏域内の情報を共有・発信するほか、ホームページ等を活用したイベント情報の共有を図る。また、広域連携によるプロモーション等の情報発信を推進する。

事業名	広報連携による情報共有や情報発信					関係市町
事業概要	圏域内の情報の共有化を図るとともに、圏域外の住民に圏域の魅力を積極的に発信する。					全市町
効果	情報の到達範囲を広げるとともに、地域の一体感を醸成し、広報効果を高める。					
事業費 (千円)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	合計
	-	-	-	-	-	-
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					

事業名	プロモーション活動およびイベント等の実施					関係市町
事業概要	北海道新幹線開業に向けた各種プロモーション活動およびPRイベントの実施					全市町
効果	北海道新幹線開業による道外観光客増加等の効果を、新幹線沿線ではない「nittan」地域においても最大限に享受し、地域経済を活性化させる。					
事業費 (千円)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	合計
	4,000	4,000	-	-	-	8,000
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	苫小牧市が北海道新幹線×nittan 地域戦略会議の事務局を行う。 ※(室蘭・登別・伊達も含めた4市で事務局機能を担っている) 各市町が必要な経費を負担する。					

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	目標値(達成年度)
	インターネットを活用した一体的な情報発信媒体数	2 (平成27年)	3 (平成31年)

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

ア 宣言中心市等における人材育成

① 職員の合同研修等の実施

協定の内容	(取組の内容) 圏域内市町職員の資質向上や人的ネットワーク及び政策課題への対応力を高めるため、合同研修会の開催等により職員の能力向上や職員間の交流に繋げる。
	(甲の役割・苫小牧市) 甲が実施する職員研修に関する情報を乙に提供し、乙の職員の参加機会を設ける。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲が実施する職員研修に職員を派遣するとともに、必要な協力を行う。

事業名	職員研修に係る情報共有および合同研修の実施					関係市町
事業概要	圏域全体で職員研修に係る情報を共有するとともに、圏域市町職員の資質向上を図るための合同研修を実施する。					全市町
効果	合同で研修を行うことにより、圏域の職員間交流が促進され、効果的に職員の能力と資質の向上が図られる。					
事業費 (千円)	H27(2015) 8,781	H28(2016) 8,781	H29(2017) 8,781	H30(2018) 8,781	H31(2019) 8,781	合計 43,905
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	合同研修開催回数	1回 (平成27年)	8回 (平成31年)

資料編 2 個別事業費一覧

(千円)

地域医療連携システム整備事業

事業名	事業主体	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	総事業費
地域医療連携システム整備事業	苫小牧市	1,037	1,037	1,037	1,037	1,037	5,185
合計		1,037	1,037	1,037	1,037	1,037	5,185

初期救急医療・広域医療体制の充実

事業名	事業主体	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	総事業費
二次救急医療運営費補助金	苫小牧市	42,928	42,928	42,928	42,928	42,928	214,640
救急医療啓発普及経費	苫小牧市	4,896	4,896	4,896	4,896	4,896	24,480
小児救急医療支援事業	苫小牧市	7,532	7,532	7,532	7,532	7,532	37,660
北海道消防防災ヘリコプター-運航連絡協議会負担金	苫小牧市	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	6,500
夜間・急病センターの管理運営に要する経費	苫小牧市	72,867	72,867	72,867	72,867	72,867	364,335
二次救急医療運営費補助金	白老町	2,952	2,952	2,952	2,952	2,952	14,760
救急医療啓発普及費	白老町	403	403	403	403	403	2,015
小児救急医療支援事業	白老町	174	174	174	174	174	870
北海道消防防災ヘリコプター-運航連絡協議会負担金	白老町	258	258	258	258	258	1,290
二次救急医療対策事業運営費負担金	厚真町	745	745	745	745	745	3,725
救急医療啓発普及事業	厚真町	104	104	104	104	104	520
小児救急医療支援事業	厚真町	49	49	49	49	49	245
消防防災ヘリ負担金	厚真町	132	132	132	132	132	660
地域医療医師確保支援補助金	厚真町	2,480	2,480	2,480	2,480	2,480	12,400
広域救急（二次救急）医療対策事業	安平町	1,329	1,329	1,329	1,329	1,329	6,645
救急医療啓発普及事業	安平町	181	181	181	181	181	905
小児救急医療支援事業	安平町	94	94	94	94	94	470
消防防災ヘリ負担金	安平町	168	168	168	168	168	840
休日夜間地域医療体制確保助成金事業	安平町	7,680	7,680	7,680	7,680	7,680	38,400
二次救急医療等対策事業運営費負担金	むかわ町	1,485	1,485	1,485	1,485	1,485	7,425
救急医療啓発普及経費	むかわ町	203	203	203	203	203	1,015
小児救急医療等対策事業運営費負担金	むかわ町	96	96	96	96	96	480

消防防災ヘリ負担金	むかわ町	192	192	192	192	192	960
合計		148,248	148,248	148,248	148,248	148,248	741,240

SOSネットワーク事業

事業名	事業主体	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	総事業費
苫小牧市認知症高齢者等の見守りSOSネットワーク事業	苫小牧市	360	460	460	未定	未定	1,280
地域見守りネットワーク事業	白老町	-	-	-	-	-	-
厚真町あんしんネットワーク事業	厚真町	125	125	125	125	125	625
安平町SOSネットワーク事業	安平町	416	416	416	416	416	2,080
東胆振SOSネットワーク	むかわ町	-	-	-	-	-	-
合計		901	1,001	1,001	541	541	3,985

障がい者等の地域生活支援事業

事業名	事業主体	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	総事業費
地域生活支援拠点事業	苫小牧市	-	6,000	6,000	6,000	6,000	24,000
地域生活支援拠点負担金	白老町	-	800	800	800	800	3,200
東胆振圏域地域生活支援拠点事業	厚真町	-	305	305	305	305	1,220
東胆振圏域障害者地域生活支援拠点設置協議会負担金	安平町	-	440	440	440	440	1,760
東胆振1市4町地域生活支援拠点整備負担金	むかわ町	-	455	455	455	455	1,820
合計		-	8,000	8,000	8,000	8,000	32,000

生涯学習機会の充実

事業名	事業主体	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	総事業費
科学学習活動経費	苫小牧市	4,792	5,000	5,000	5,000	5,000	24,792
美術博物館企画展示事業費	苫小牧市	5,300	6,442	6,442	6,442	6,442	31,068
美術博物館特別展事業費	苫小牧市	5,000	5,957	5,957	5,957	5,957	28,828
文化芸術振興事業	苫小牧市	15,380	15,380	15,380	15,380	15,380	76,900
アイヌ文化を学ぶふるさと学習事業	白老町	340	340	340	340	340	1,700
アイヌ文化学習活動事業	白老町	765	765	765	765	765	3,825
資料館特別展開催事業	白老町	137	600	600	600	600	2,537

民族共生象徴空間整備促進・活性化事業	白老町	14,095	1,684	1,700	1,700	1,700	20,879
アイヌ文化調査研究強化対策事業	白老町	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	75,000
文化財啓蒙普及活動	厚真町	-	-	-	-	-	-
鉄道資料館管理経費	安平町	392	392	392	392	392	1,960
博物館普及活動経費	むかわ町	3,109	3,109	3,109	3,109	3,109	15,545
博物館特別展事業費	むかわ町	884	2,000	2,000	2,000	2,000	8,884
恐竜化石クリーニング等経費	むかわ町	15,090	12,000	12,000	12,000	12,000	63,090
合計		80,284	68,669	68,885	68,885	68,685	355,008

図書館（室）の相互連携の強化

事業名	事業主体	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	総事業費
図書館コンピュータシステム事業	苫小牧市	8,401	8,401	8,401	8,401	8,401	42,005
図書館システム保守経費	白老町	175	175	175	175	175	875
図書管理システム運用事業	厚真町	230	230	230	230	230	1,150
図書システム運用事業	安平町	130	130	130	130	130	650
図書館システム管理運営経費	むかわ町	500	500	500	500	500	2,500
合計		9,436	9,436	9,436	9,436	9,436	47,180

地場産品のPRや産業振興に関する連携

事業名	事業主体	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	総事業費
苫小牧産ホッキ貝ブランド化推進事業	苫小牧市	500	500	500	500	500	2,500
マツカワ種苗放流事業補助金	苫小牧市	430	430	430	430	430	2,150
優良繁殖用家畜導入・保留補助	苫小牧市	1,000	-	-	-	-	1,000
農業・畜産・酪農収益力強化対策事業	苫小牧市	-	5,263	4,901	4,901	4,901	19,966
胆振管内シシャモ漁業振興協議会負担金	苫小牧市	263	263	263	263	263	1,315
マツカワ種苗放流事業補助金	白老町	500	500	500	500	500	2,500
食材王国しらおいブランド強化事業	白老町	1,561	1,600	1,600	1,600	1,600	7,961
さっぽろオータムフェスト補助	白老町	80	80	80	80	80	400

地域特性を活かした商業観光振興事業	白老町	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	42,500
観光イベント支援事業	厚真町	9,820	9,820	9,820	9,820	9,820	49,100
胆振管内シシャモ漁業振興協議会負担金	厚真町	798	798	798	798	798	3,990
マツカワ種苗放流事業負担金	厚真町	330	330	330	330	330	1,650
ハスカップ地域ブランド化総合推進事業	厚真町	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000
地域ブランド化推進支援事業助成金	安平町	1,040	1,040	1,040	1,040	1,040	5,200
アサヒメロンブランド継承事業	安平町	30,642	164	164	164	164	31,298
マツカワ種苗放流事業負担金	むかわ町	330	330	330	330	330	1,650
胆振管内シシャモ漁業振興協議会負担金	むかわ町	1,708	1,708	1,708	1,708	1,708	8,540
合計		60,502	34,326	33,964	33,964	33,964	196,720

東胆振地域ブランド創造協議会

事業名	事業主体	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	総事業費
東胆振地域ブランド創造協議会負担金	苫小牧市	-	未定	未定	未定	未定	-
東胆振地域ブランド創造協議会負担金	白老町	-	未定	未定	未定	未定	-
東胆振地域ブランド創造協議会負担金	厚真町	-	未定	未定	未定	未定	-
東胆振地域ブランド創造協議会負担金	安平町	-	未定	未定	未定	未定	-
東胆振地域ブランド創造協議会負担金	むかわ町	-	未定	未定	未定	未定	-
合計		-	未定	未定	未定	未定	-

鳥獣被害防止対策事業

事業名	事業主体	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	総事業費
アライグマ捕獲事業	苫小牧市	5,215	5,215	5,215	5,215	5,215	26,075
苫小牧市鳥獣被害防止対策協議会補助	苫小牧市	6,144	6,144	6,144	6,144	6,144	30,720
有害昆虫・鳥獣駆除対策事業	白老町	1,861	1,861	1,861	1,861	1,861	9,305
鳥獣被害防止総合対策事業	白老町	9,806	-	-	-	-	9,806
エゾシカ被害防止対策事業	厚真町	2,481	2,481	2,481	2,481	2,481	12,405
クマ対策事業	厚真町	268	268	268	268	268	1,340
野生鳥獣対策事業	厚真町	879	879	879	879	879	4,395

鳥獣被害防止総合対策事業経費	安平町	1,699	1,699	1,699	1,699	1,699	8,495
有害鳥獣緩衝帯草刈事業	むかわ町	87	87	87	87	87	435
鳥獣被害防止緊急対策事業	むかわ町	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	120,000
狩猟免許取得補助金	むかわ町	100	100	100	100	100	500
合計		52,540	42,734	42,734	42,734	42,734	223,476

防災体制の充実

事業名	事業主体	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	総事業費
自主防災組織育成事業	苫小牧市	948	948	948	948	948	4,740
防災備蓄品整備事業	苫小牧市	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
樽前山火山防災会議協議会負担金	苫小牧市	24	24	24	24	24	120
白老町防災対策推進事業	白老町	7,972	11,661	7,972	7,972	7,972	43,549
樽前山火山防災会議協議会負担金	白老町	27	27	27	27	27	135
防災訓練事業	白老町	300	100	100	100	100	700
樽前山火山防災協議会負担金	厚真町	27	24	24	24	24	123
樽前山火山防災会議協議会負担金	安平町	27	24	24	24	24	123
自主防災組織設立促進事業	安平町	702	370	-	-	-	1,072
防災体制整備事業	安平町	1,069	536	534	534	534	3,207
自主防災活動推進事業	むかわ町	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000
防災体制推進事業	むかわ町	2,010	2,010	2,010	2,010	2,010	10,050
樽前山火山防災会議協議会負担金	むかわ町	27	27	27	27	27	135
合計		16,133	18,751	14,690	14,690	14,690	78,954

循環型社会の構築

事業名	事業主体	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	総事業費
沼ノ端クリーンセンター管理運営経費	苫小牧市	486,492	未定	未定	未定	未定	486,492
資源化センター管理運営経費	苫小牧市	53,456	52,981	-	-	-	106,437
資源物中間処理事業	苫小牧市	-	-	212,062	211,223	211,223	634,508
埋立処分場管理運営経費	苫小牧市	19,415	未定	未定	未定	未定	19,415
廃プラスチック類中間処理事業費	苫小牧市	121,030	120,314	-	-	-	241,344
資源リサイクル運動推進事業費	苫小牧市	41,192	未定	未定	未定	未定	41,192

清掃統計処理システム事業費	苫小牧市	1,584	未定	未定	未定	未定	1,584
清掃施設ダイオキシン類測定分析業務経費	苫小牧市	2,344	未定	未定	未定	未定	2,344
苫小牧市浄化槽設置整備事業	苫小牧市	29,081	13,500	7,900	7,900	7,900	66,281
住宅用新・省エネルギーシステム補助事業	苫小牧市	18,000	未定	未定	未定	未定	18,000
浄化槽設置整備事業	白老町	8,620	8,620	8,620	8,620	8,620	43,100
安平・厚真行政事務組合負担金 (一般廃棄物処理負担金)	厚真町	17,300	18,605	18,581	18,514	19,446	92,446
安全・安心省エネ住宅推進事業	厚真町	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	23,500
浄化市町村整備推進事業	厚真町	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	115,000
ごみの広域処理事業	安平町	33,039	35,532	35,488	35,360	37,140	176,559
住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付事業	安平町	1,400	1,400	-	-	-	2,800
合併処理浄化槽設置整備事業	安平町	4,410	4,410	4,410	4,410	4,410	22,050
住宅用太陽光発電システム設置費補助	むかわ町	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000
むかわ町合併浄化槽設置整備事業	むかわ町	4,201	4,201	4,201	4,201	4,201	21,005
合計		870,464	288,463	320,162	319,128	321,840	2,120,057

生活バス路線の維持・確保

事業名	事業主体	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	総事業費
苫小牧市公共交通協議会負担金	苫小牧市	400	500	500	500	500	2,400
公共交通路線維持費補助事業	苫小牧市	68,300	71,423	71,423	71,423	71,423	353,992
樽前予約運行型バス運行事業	苫小牧市	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	40,000
循環福祉バス運行事業	白老町	20,419	20,419	20,419	20,419	20,419	102,095
地域公共交通活性化事業	白老町	130	130	130	130	130	650
地域公共交通対策事業	厚真町	30,545	30,545	30,545	30,545	30,545	152,725
デマンド交通運行事業補助金	安平町	12,758	12,758	12,758	12,758	12,758	63,790
地方バス路線維持費補助金	安平町	9,120	9,120	9,120	9,120	9,120	45,600
町営予約運行型バス事業	むかわ町	24,730	24,730	24,730	24,730	24,730	123,650
むかわ町地域公共交通活性化協議会負担金	むかわ町	-	100	100	100	100	400
合計		174,402	177,725	177,725	177,725	177,725	885,302

期成会活動の促進

事業名	事業主体	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	総事業費
苫小牧地方総合開発期成会負担金	苫小牧市	483	483	483	483	483	2,415
高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会負担金	苫小牧市	54	54	54	54	54	270
苫小牧地方総合開発期成会負担金	白老町	83	83	83	83	83	515
高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会負担金	白老町	12	12	12	12	12	60
苫小牧地方総合開発期成会負担金	厚真町	36	36	36	36	36	180
高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会負担金	厚真町	54	54	54	54	54	270
苫小牧地方総合開発期成会負担金	安平町	58	58	58	58	58	290
高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会負担金	安平町	12	12	12	12	12	60
苫小牧地方総合開発期成会負担金	むかわ町	74	74	74	74	74	370
高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会負担金	むかわ町	54	54	54	54	54	270
合計		920	920	920	920	920	4,600

地産地消の拡大

事業名	事業主体	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	総事業費
東胆振地産地食フェア・イン・とまこまい補助	苫小牧市	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
東胆振物産まつり補助	苫小牧市	680	680	680	680	680	3,400
東胆振物産まつり補助	白老町	80	80	80	80	80	400
東胆振物産まつり補助	厚真町	80	80	80	80	80	400
東胆振物産まつり負担金	安平町	80	80	80	80	80	400
特産物振興対策事業	むかわ町	534	534	534	534	534	2,670
合計		2,454	2,454	2,454	2,454	2,454	12,270

移住関連情報の一体的な発信

事業名	事業主体	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	総事業費
移住関連情報発信	苫小牧市	-	-	-	-	-	-
移住・定住促進事業	白老町	109	109	109	109	109	545

子育て世代・移住者等定住促進支援事業	白老町	14,486	14,486	14,486	14,486	14,486	72,430
情報発信事業	厚真町	2,358	2,358	2,358	2,358	2,358	11,790
定住化促進対策事業	厚真町	25,316	23,500	23,500	23,500	23,500	119,316
定住促進事業	厚真町	50	50	50	50	50	250
定住促進事業	安平町	50	50	50	50	50	250
定住促進事業（移住促進PR事業）	安平町	3,488	3,763	3,778	3,778	3,778	18,585
定住促進事業	むかわ町	50	50	50	50	50	250
合計		45,907	44,366	44,381	44,381	44,381	223,416

広報連携による情報共有や情報発信

事業名	事業主体	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	総事業費
広域連携による情報共有や情報発信の促進	苫小牧市	-	未定	未定	未定	未定	-
広域連携による情報共有や情報発信の促進	白老町	-	未定	未定	未定	未定	-
広域連携による情報共有や情報発信の促進	厚真町	-	未定	未定	未定	未定	-
広域連携による情報共有や情報発信の促進	安平町	-	未定	未定	未定	未定	-
広域連携による情報共有や情報発信の促進	むかわ町	-	未定	未定	未定	未定	-
合計		-	未定	未定	未定	未定	-

プロモーション活動およびイベント等の実施

事業名	事業主体	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	総事業費
北海道新幹線×nittan 地域戦略会議活動事業費	苫小牧市	4,000	4,000	未定	未定	未定	8,000
北海道新幹線×nittan 地域戦略会議活動事業費	白老町	-	未定	未定	未定	未定	-
北海道新幹線×nittan 地域戦略会議活動事業費	厚真町	-	未定	未定	未定	未定	-
北海道新幹線×nittan 地域戦略会議活動事業費	安平町	-	未定	未定	未定	未定	-
北海道新幹線×nittan 地域戦略会議活動事業費	むかわ町	-	未定	未定	未定	未定	-
合計		4,000	4,000	-	-	-	8,000

職員研修に係る情報共有および合同研修の実施

事業名	事業主体	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	総事業費
職員研修経費	苫小牧市	8,781	8,781	8,781	8,781	8,781	43,905
職員研修経費	白老町	-	未定	未定	未定	未定	-
職員研修経費	厚真町	-	未定	未定	未定	未定	-
職員研修経費	安平町	-	未定	未定	未定	未定	-
職員研修経費	むかわ町	-	未定	未定	未定	未定	-
合計		8,781	8,781	8,781	8,781	8,781	43,905

※ 各年度別の事業費は平成 27 年 9 月時点の見込額であり、27 年度については予算額、28 年度以降については現時点見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。
(各事業費の未定については、合計の事業費には反映していません)

資料編 3 定住自立圏共生ビジョン懇談会 委員名簿

平成 29 年 8 月末現在

	関連分野	氏名	所属等	市町名
1	学識委員	有澤 恒夫	苫小牧駒澤大学国際文化学部	苫小牧
2	医療	笠原 健太郎	(一社) 苫小牧市医師会事務局	苫小牧
3	福祉	塚原 光博	白老町民生委員児童委員協議会	白老
4	福祉	小坂 幸司	(株) 小坂農園	むかわ
5	教育	加藤 務	(福) むかわ町社会福祉協議会事務局	むかわ
6	産業振興	山崎 栄二	(一社) 白老観光協会事務局	白老
7	防災	伊東 悦子	防災マスター	厚真
8	環境	清水 祐一	苫小牧工業高等専門学校創造工学科	苫小牧
9	環境	丹羽 智久	(株) 白老清掃	白老
10	地域公共交通・交通ネットワーク	長谷川 義郎	室蘭地区バス協会事務局	苫小牧
11	地域公共交通・交通ネットワーク	今村 昭一	元厚真町議会議員	厚真
12	生産者と消費者との連携による地産地消	内藤 圭子	NPO法人 ココ・カラ	安平
13	生産者と消費者との連携による地産地消	荒館 康治	(一社) むかわ町観光協会事務局	むかわ
14	移住交流	柿澤 博	(一社) あびら観光協会事務局	安平
15	その他の結びつきやネットワークの強化に係る連携	加藤 舞	(株) オーティス	苫小牧
16	公募委員	青木 喜久		苫小牧
17	公募委員	星野 岳夫		苫小牧
18	公募委員	山川 貢		苫小牧

(敬称略)

資料編 4 定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱

(設置)

第1条 東胆振における定住自立圏の形成に関する協定（以下「協定」という。）により形成された圏域全体を対象として、圏域の将来像や協定に基づき推進する具体的な取組内容等を記載する定住自立圏共生ビジョン（以下「ビジョン」という。）の策定に関して、関係者等の意見を反映させるため、定住自立圏共生ビジョン懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 懇談会は、ビジョンの策定又は変更について審議する。

(組織)

第3条 懇談会は20人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 公募に応じた者
- (2) 協定に関連する分野の関係者
- (3) 学識経験者
- (4) その他市長が適当と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(座長及び副座長)

第5条 懇談会に、座長及び副座長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 座長は、会務を総理し、懇談会を代表する。

3 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 懇談会の会議は、座長が招集する。

2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

(関係者の出席等)

第7条 懇談会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対し、出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第8条 懇談会の庶務は、苫小牧市総合政策部政策推進室政策推進課において処理する。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、座長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成27年7月16日から施行する。

東胆振定住自立圏共生ビジョン

平成 27 年 10 月 30 日策定

平成 29 年 8 月 23 日第 1 回変更

苫小牧市総合政策部政策推進室政策推進課
〒053-8722 苫小牧市旭町 4 丁目 5 番 6 号

T E L 0144-32-6039

F A X 0144-34-7110
